



KUMAMOTO GREEN

The Weekly Bulletin

Rotary-Club



2015-2016年度
テーマ

- 国際ロータリー 「世界へのプレゼントになろう」
- 地区方針 「ロータリーの活動を通して、新たな気づきを、そして自己の成長へつなげよう」
- 熊本グリーンR.C. 「ロータリーの可能性に挑む」

R.I. 会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン
 R.I. 2720 地区 ガバナー 野田三郎
 熊本グリーンR.C. 会長 大友利行

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
 ■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
 TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：大友 利行 ■幹事：荒木 一之 ■会報担当：長野 義文
 ■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
 TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年4月11日】

第1213回
 2015-2016年度 第33回
 【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「奉仕の理想」 (ロータリーソング)

来訪者紹介 (大友 利行 会長)

なし

友情の握手

会長スピーチ (大友 利行 会長)

昨日は大分での地区研修協議会、出席の皆様お疲れ様でした。次年度、大分キャピタルRCの前田眞実氏がガバナーとされます。約1時間に亘って地区方針を話されました。意欲的なお話でした。

その中にロータリーの標語で「最も奉仕する者、最も多く報いられる。」(A. F. シャルドン)がありました。仏教でいう「自利他利」が日本ではよく当てはめられます。自利は自己の修行により得た功德を自分だけのものとして受け取ること。利他は自己の利益だけに止めないで、他の人々の救済につくすこと。とされています。本来は仏教の修行上の言葉で自利とは自分の覚りを目指して修行して得る利益のこと。利他とはその功德を他の人を覚らせるためにする修行のことです。大乘仏教では、利他を優先して修行することを目指しました。小乗仏教

では、自利が中心となっています。自利利他を完全に両立させる状態は仏の境地とされ、これを自利利他円満とよびました。日本の仏教では平安時代頃から仏道修行と世間行との区別があいまいとなり、鎌倉仏教の法然・親鸞の在家主義仏教を生み出しました。今回の自利利他の一般的な理解や使い方にもそれが及んでいると言えましょう。

幹事報告 (荒木 一之 幹事)

■ 例会変更
 <変更>

【熊本りんどうRC】

①4月7日(木)の例会は、木山弾正祭のため、4月3日(日)に変更して行います。

②4月21日(木)の例会は、野球観戦例会のため、同日18:00より、福岡ヤフドームにて行います。

<取止め>

下記の例会は定款第6条第1節に基づき、取止めます。

【熊本りんどうRC】 4月28日(木)

【熊本西陵RC】 5月2日(月)

【熊本南RC】 5月2日(月)

*但し、サインメーキャップは行いません。



5/9 劇団四季のキャストの方 山下佳介会員紹介(予定)

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及びません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

出席報告 (石浦順一会員)

	会員総数	22名	出席率
4月11日	出席免除会員数	1名	57.14%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	12名	
3月28日	前回の出席会員数	15名	80.95%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員	17名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・4/10 地区研修・協議会 本田 君、江上 君			

委員会報告

①ローターアクトフリーマーケットの協力のお願い

報告者：山下 佳介 青少年奉仕委員長
 4月24日(日)にフリーマーケットを行う予定にしておりますが、その利益は全額寄付をすることとなりました。寄付先はポリオ撲滅のための活動への寄付と「だいちゃんに心臓移植を」活動の方へ寄付を行います。RCの皆さまに物品の提供をお願いしておりますが、まとめて18日のクラブ開始前に取りに伺いたいと考えております。また大きなものは個別に取りに伺いますのでその旨もお伝えお願いいたします。急なお願いとなってしまうかもしれませんが、何卒よろしくお願ひいたします。

②毎月の誕生祝いについて

報告者：仙波 洋八 S. A. A.
 毎月の誕生祝いを月初めの例会の中で行っておりますが、会員の親睦や連帯感を深める為にも、第2例会位に例会終了後、「もっとも」に移動して会員及び夫人の誕生会を行いたいと思います。まず来月に行いたいと思います。皆様主旨をご理解の上何卒ご協力をお願い致します。

③「熊本県ロータリー奨学会」文集第50号のご紹介

報告者：仙波洋八
 熊本県ロータリー奨学会評議員本日お手元に配布しております。「熊本県ロータリー奨学会」文集第50号ですが、奨学金を貰っている高校生30名の高校生活の様子をつづった作文及びに奨学会の運営の様子、卒業生の近況等が掲載されております。是非お目通し下さい。

その他の報告

新会員推薦者バッジの贈呈
 報告者：大友利行会長より上田観一会員へ
 国際ロータリーより新会員を推薦した方に推薦者バッジが届きました。これは国際ロータリーより半期に1度の割合で、その間に推薦を行った方あてに届きます。本日は、福島和見会員の推薦者の上田観一会員に贈呈致します。

スマイル

- 大友 利行 君
 ①「昨日の地区研修協議会に出席された方お疲れ様でした。河島会員の車で往復お世話になりました。感謝してスマイルします。」
 ②「中島光司会員の久し振りの御出席ありがとうございました。御健勝を祝してスマイルします。」
- 中島 光司 君
 「1年ぶりの出席となります。やっと例会に出て来れました。宜しくお願いします。」
- 荒木 一之 君
 ①「本日は中島会員の久し振りの参加にスマイルです。」
 ②「本日の卓話楽しみにしています。また、大分の研修会に行って頂いた方々に感謝します。行けなくて済みませんでした。」
- 福島 和見 君
 「中島光司会員様と初めてお目にかかれて大変嬉しく思っております。又、昨日の大分は娘の嫁ぎ先のご家族との顔合わせと重なってしまい、失礼しました事をお許し下さい、中島光司会員と娘の幸せにスマイルします。」
- 河野 景治 君
 「中島光司会員のご出席に感謝のスマイル申し上げます。また、本日は奉仕プロジェクト委員会提案を総会にお諮り頂き、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。」
- 河島 一夫 君
 「中島光司会長ノミニーの御出席に会長エレクトとして、大変ほっとしています。これから毎回ご出席される事と存じます。お体の方も随分良くなりましたようで良かったですね。中島ノミニーにスマイル。」
- 上田 観一 君、山下 佳介 君、長野 義文 君、栗山 義則 君、葉 高源 君
 ①「昨日は地区研修・協議会に数年振りに出席致しました。思ったより沢山のロータリアン

が参加されていまして。地区大会と違い、ロータリーについての勉強会とあり、久し振りに刺激を受けました。又、頑張っていきたいと思えます。」

②「中島光司さんの出席ありがとうございます。お元気で安心しました。これからもお体に気をつけて頑張ってください。」

●仙波 洋八 君

①「先日発売された、上通り商栄会発行の「街は生きているII」読みました。河島会長、栗山社長の自社史の語らいも興味深く、懐かしく読むことが出来ました。皆さん是非読んで下さい、勉強になります。」

②「今日はもうひとつ嬉しいことがありました。中島光司会員が久し振りの出席です。元気な顔が見られて幸せです。」

4月 卓話スケジュール
～ 母子と健康月間 ～

- 4日 松村 秀逸 会員卓話
- 11日 「地区研修・協議会報告」
- 18日 「米山梅吉の生涯について」
上林工業(株)社長
上林節郎 氏(熊本菊南RC)
- 25日 「台湾への道程(どうてい)」
熊本電気鉄道(株) 代表取締役社長
中島 敬高 氏(熊本RC会長)

★臨時総会★

～「だいちやんに心臓移植を」の活動支援について～

日時 平成28年(2016)4月11日(月)18:30～
場所 ホテルキャッスル 例会場



★議事進行(議長 大友 利行 会長)

只今から「だいちやんに心臓移植を」の活動支援についてに関する臨時総会を行います。本日の出席率は57.14%ですので、クラブ細則第1条4(定足数)により 会員総数の3分の1のをもって成立するとなっておりますので、本総会は成立します。

会員の皆様のお手元に「臨時総会」の資料を2枚配布させて頂いておりますのでご用意下さい。それに関しましては河野景治会員の方より説明をして頂きます。

尚、この議案につきましては先週4月4日(月)理事会にては検討済みです。

★河野 景治会員より「だいちやんに心臓移植を」の支援内容や熊本グリーンRCとしての取り組み方のご提案。

→この提案に御承認戴ければ拍手をお願い致します。

出席会員の2/3以上の御賛同を頂いたようですので、承認とさせていただきます。

3. 例会プログラム

「地区研修・協議会報告」

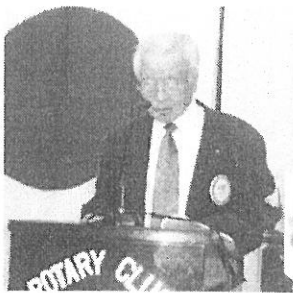
- | | |
|------------|---------|
| ・幹事部会 | 葉 高源会員 |
| ・管理運営部会 | 仙波 洋八会員 |
| ・広報部会 | 江上 泰弘会員 |
| ・会員増強部会 | 田中 純司会員 |
| ・職業奉仕部会 | 山下 佳介会員 |
| ・青少年奉仕部会 | 上田 観一会員 |
| ・ロータリー財団部会 | 栗山 義則会員 |
| ・会長部会 | 河島 一夫会員 |



臨時総会 「だいちやんに心臓移植を」
支援の趣旨説明 河野 景治会員

報告は5頁以降

◆幹事部会 葉 高源 会員



大分キャピタルRCの地区幹事の中野裕貴様の司会進行で始まりました。1) 幹事の仕事、2) 幹事の年間スケジュール、3) マイロータリーについて等の説明がありました。大分キャピタルRCには事務局員が居ないため、ロータリー事務所等より人頭割の請求書等が来たとき、支払い等諸々の事務を幹事が一人でやって居るので幹事の仕事は大変だと言っていました。「MyRotary」アカウント登録も幹事が登録をするとのこと、私達グリーンロータリーには事務局の沢田様が居て事務局で対応していただくので私達幹事は大変助かって居るのだと思いました。

通常幹事は例会時どのような仕事を行わなければならないのか、との質問に対し、各クラブにおいて、仕事の内容が異なるので、今の幹事にお聞きください、との返事に、では今日の幹事部会へ出席する意味が無いのではとゆう意見がありました。

荒木幹事に色々のご指導をいただき、引き継ぎを行って行きたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

何かすっきりしない幹事部会でした。

◆管理運営部会 仙波 洋八 会員



部会で示唆された、又、議論されたことの概要を記して報告とします。

この委員会は、会社に例えるならば「総務部」のような存在で、クラブ活動全般に気を配り推進、調整の中心的役割を負う。特に力を注いで欲しい点は次の通り。

- ①ロータリーは楽しい存在でなければならない。従ってエンジョイ出来るような方策、実行に務める。
- ②クラブ研修委員会の活動を充実し勉強の機会を作る。
- ③例会出席の確認、特にホームクラブへの出席率を高める。サインメイキャップを再考してもらいたい。
- ④地区や地域で実施される諸会議への出席を奨励し、欠席者のチェックと対策に務める。
- ⑤「クラブ戦略計画」を作っていないクラブは速やかに策定し、年次計画などに組み入れて実践に移す。
- ⑥会員の維持と増強。とりあえず地区平均値以下のものは平均値まで引き上げる取り組みをする。
- ⑦クラブ活性化について、SAAの役割を再検討してもらいたい。
- ⑧例会の所要時間を「1時間と限定する規約は無い」。特に卓話については1時間の卓話が主流となってきている。活性化や親睦の観点から見直す事が必要。
- ⑨ロータリーの社会的な評価(存在感)が薄れてきているように思われる。奉仕活動をクラブが連携して行うことなどして存在感を高めることを意識しよう。
- ⑩親睦活動を含め、全ての活動が形骸化している。「ロータリーをエンジョイしよう」のスローガンのもと再構築してもらいたい。

◆広報部会 江上 泰弘 会員

広報部門には2つの委員会があります

◎広報委員会

・ロータリーに関する情報を一般の人々へ伝え、クラブの奉仕活動を広報する
具体的に

- ①ホームページの充実
- ②クラブの奉仕活動をマスコミに提供し、取材してもらう
- ③ロータリーの友へ出稿する

一般の人に告知するような奉仕活動には、県・市や各教育委員会、マスコミ等の後援を依頼すると無料で看板・パンフ等に掲載でき、多少の信頼を増すことが出来る(チラシ等を学校等にも配布しやすくなる)



◎IT研修委員会

・IT (Information Technology) を苦手とするクラブや会員に研修を実施する
具体的に

- ①4つのテストに照らし合わせて、間違った情報の収集や発信をなくし正確な情報の収集や発信、情報のやり取りを有効に利用する。

◆会員増強部会 田中 純司 会員

大友会員増強委員長が青少年奉仕部門の地区青少年交換委員のため、代理として出席してきました。

2016～2017 年度国際ロータリー第2720 地区の「地区研修・協議会」出席の報告をいたします。

全体会議は10時から行われ、昼食後の第2510 地区、第2ゾーンロータリーコーディネーターの金杉誠様による「RI 戦略計画とクラブの活性化」という演題の基調講演があり、その後、部門別研修・協議会が2時過ぎから開催され、私は会員増強部門に出席しました。

会員増強部門長は硯川部門長を中心に11名で構成され、会員増強委員会とは別に新会員研修委員会が新設されました。

新会員研修委員会は入会5年未満(3年未満にするか検討中)の会員への研修を行うことを目的としています。2720 地区では入会5年未満の会員は800名程度いるそうです。

会員増強委員会と管理運営委員会との合同地区セミナー開催が5月14日(土)熊本、5月22日(日)大分で予定されています。

先般行われた、職業分類アンケート調査結果より作成した総合職業分類表の配布があり、各クラブの見直しに活用してほしいとの事でした。

以上の報告事項のあと、会員増強・会員維持についての意見交換が行われました。

会員増強・会員維持のための意見として、会長・委員長の熱意、クラブ見学からの勧誘、外部卓話を依頼してからの勧誘、ライオンズクラブ会員家族の勧誘、新会員の研修セミナー、女性会員は5名以内(人数が多くなると派閥ができる?)、同好会の活用、等々でした。

◆職業奉仕部会 山下 佳介 会員



次年度ガバナー前田様は職業奉仕に重点を置く方針を打ち出されました。

具体的には職業奉仕プロジェクト委員会と職業奉仕研究委員会を新設し、委員の数も8名から19名と大幅に増員されました。

また10月29日にはホルトホール大分にて職業奉仕セミナーが開催されます。

具体的な活動報告では八代南RCがVSOPと称してポリオプラス募金を2年前からされているそうです、既に100 万円以上募金されているそうです。

◆青少年奉仕部会 上田 観一 会員



・部門長 青少年奉仕部会 河野誠男(中津中央RC)より発表

初めに、青少年奉仕は未来への奉仕について話され、ロータリーの中核的価値観(奉仕・親睦・多様性・高潔生・リーダーシップ)を基に、人生哲学や人生観の学びの場を提供し、世代間のつながりを作っていきます。

次に、重点方針を話されました。

- ①ローターアクト・インターアクトの会員増強
- ②青少年交換事業の充実
- ③他部門との連携強化

<ロータリークラブの現況と課題について>

・地区ローターアクト代表 後藤正太君より発表

1.ローターアクトクラブの目的

国際ロータリーの指導、後援の下に、奉仕活動を行う機会を奨励し、その活動を通じて、地域社会における、将来の指導者を育成する。

2.ローターアクトの会員数の現況、卒業会員の件(18才～30才で卒業)

3.アクトの魅力について

①アクト例会は社員研修の場であるみたい。アクトに入会すれば話す機会が多く、人前で話せる様になった。

②親子の絆・世代間の交流が出来る。

③社会人の組織:学生さんもいますが、若い時に社会人と交じって勉強が出来る。

④現在ローターアクトクラブは地区に14あります。親クラブから、会社員、会員のお子さん、お孫さんの入会の案内をお願いします。

⑤ローターアクトに事業を依頼されてみてはいかがでしょうか。例えば、英語教室、プログラム立案等...

⑥ロータリーの方も是非、アクト例会や活動に参加して下さい。

<青少年交換について>

本渡RCより報告がありました。

本渡RCは単独で1970年より46年間オーストラリアの子供達との交換留学を行って来た。スライドで日本人・オーストラリア人の顔写真やインタビューの映像を見せて頂きました。

平成21年からは1ヶ月の短期留学に変えておられるとの事でした。

昨年より単独の交流ではなく、地区のロータリーを通して行うようになりました。その理由として事故等が起きた場合の責任、保証はどうするか?・現在地区では、地区青少年交換事業として危機管理基金として1,000万円程あり、RIでは5,000万円程予定して欲しいとの事でした。

現在、パリやベルギーなどでテロもあり、常に危機管理をしておかないといけないとの事でした。当地区は1990年から青少年交換が中止になっていましたが、昨年台湾との交流が出来ました。という報告がありました。

最後に2016~2017年度青少年交換委員会のアンケートを受取りました。理事会に諮り返答したいと思います。

◆ロータリー財団部会 栗山 義則 会員



ロータリー財団部門では地区部門長の瀧満氏(中津RC)が部門の方針と活動方針を説明され、財団部門の4つの組織(1.補助金部門 2.ポリオプラス、VTT、奨学金委員会の資金推進委員会 4.財団資金管理委員会)の各委員長が活動方針を発表されました。

◆会長部会 河島 一夫 会員



次年度の国際ロータリージョン・ジャーム会長は(米国テネシー州・チャタヌーガロータリークラブ)のテーマは「人類に奉仕する」です。

また、ガバナーエレクトは、名前は前田眞実(まさみ)、大分キャピタルロータリークラブで職業分類は専門学校、現在61歳、ロータリー歴は17年、地区スローガンは「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

「学ぶ」変化についていくためには学ぶことだと確信します。職業奉仕、IT、ロータリーの基本、そしてどのような人生を送るか、これらを考え、学ばなければなりません。

「守る」どのように変化しても、守るものはあります。それはロータリーの目的と奉仕の理念です。また、基本的なルールやマナー等もこれにあたります。「当たり前前のことが当たり前前に出来たら、当たり前でなくなる」。基本を守ることが特殊化や差別化に繋がります。

「育てる」第一に、人材です。ロータリーアンはもとより、将来を担う若い人達の成長のお手伝いをする事が我々の使命であります。

「未来に向けて」目指すは日本一の地区です。それが実現出来れば、ロータリーの目的が達成出来る集団になると信じます。

[具体的な取組み]

- ①ロータリー財団100周年を記念した事業の推進
- ②会員の増強、実質3%UP
- ③職業奉仕について学ぶ
- ④ITについて学ぶ
- ⑤ロータリーの基本について学ぶ
- ⑥青少年奉仕活動の充実
- ⑦グローバル補助金を使った事業の推進
- ⑧地区職業奉仕プロジェクトの実施
- ⑨地区運営の明文化
- ⑩Eクラブの立ち上げ

私のスローガン「輪を強めて進もう」

